

澄んだヴァイオリンの音色に感激のひととき

9月13日（木）午後4時30分から緩和センター談話室で、午後6時30分からは外来ホールで開かれた“加藤玲名ヴァイオリンコンサート”には、約100名の患者さん



とそのご家族、センタースタッフが参加。プロの奏でるヴァイオリンの音色をじっくり味わって、感激のひと時を過ごすことができました。

加藤さんは千葉在住で落語とのコラボなど様々な演奏活

動やボランティアにも参加されている若手演奏家。「星に願いを」「歌の翼に」「愛の喜び」「椰子の実」「涙そうそう」「上を向いて歩こう」など、クラシックからポピュラー、童謡まで14曲を熱演。演奏の合間にはお父様の闘病体験にも触れ、患者さんたちに「早く元気になってください」とエールを。コンサートの後で患者さんから「夜が長いと感じていたけど、病院でこんなに素敵なヴァイオリンが聴けるとは。心が洗われたよう」と感想をいただきました。



←緩和センターの談話室ではベッドの患者さんの傍でも演奏。一人ひとりと握手し、励ましてくださいました。「ハンガリー舞曲 第5番」の演奏では、お見舞いのご家族の母娘が曲に乗って踊り出す場面もありました。